

地域における福祉の推進

絵冊子「ひいじいちゃんはビールづくりのかみさま」 ～発行を通じた福祉教育教材の提供活動～

取り組み内容のポイント 特養の入居者が演じるミュージカル「吹田村アサヒビール物語」を観劇した吹田市立岸部第二小学校の児童及び、他地域の小学校の児童、保育園児などに、アサヒビール吹田工場と特別養護老人ホーム寿楽荘を舞台にした絵冊子「ひいじいちゃんはビールづくりのかみさま」を福祉教材として配布することにより、福祉教育を推進し、子供たちが大人になっていく中で育つ福祉のまちづくりを前進させる。

大阪府

社会福祉法人

寿楽福祉会

〒564-0001 大阪府吹田市岸部北4丁目9番3号

TEL：06-6337-8400 FAX：06-6339-6628

◆法人設立年

昭和63年

◆法人実施事業

- ①経営施設数合計：3施設
②経営施設・事業【種別毎の数】：
特別養護老人ホーム…1、通所介護…2、老人
居宅介護等事業…2、居宅介護支援事業…3、
保育所…1

◆法人の理念・経営方針

- 高齢者が安定した老後を送っていただけるよう
1. 人間性を尊重し、自主性を基本とした、明るく、楽しい、あたたかみのある運営に努める。
2. 都市の中での施設として、地域社会との連携を深め、誰からも親しまれる事業運営とサービス提供に努める。

◆取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款記載の有無：記載していない
②事業報告・計画への記載：記載している

◆取り組みを実施している施設の概要

- 特別養護老人ホーム寿楽荘
特別養護老人ホーム(50名) 老人短期入所(4名)
- 寿楽荘 千里山西デイサービスセンター(老人デイサービスセンター)
一般型(50名) 認知型(11名)
- 寿楽荘 竹谷生活リハビリハウス(老人デイサービスセンター)
一般型(10名) 認知型(10名)

◆活動内容

- ◇活動開始年：平成22年10月
◇活動の対象者：
吹田市立岸部第二小学校児童及び、寿楽福祉会施設近隣の小学校児童及び幼稚園児、そして吹田市内の保育園児・障害児施設の園児など
◇活動の頻度・時間：
ミュージカル(年1回、1回あたり1時間)
今回の絵冊子発行は今回が初めての取り組み

◆活動実施の背景、実施にいたった理由

平成16年11月から毎年、吹田市立岸部第二小学校体育館において、特別養護老人ホーム寿楽荘の入居者が手づくりミュージカル「吹田村アサヒビール物語」を上演し、3年生児童が授業で社会見学したアサヒビール吹田工場の歴史と重ねて「わがまち吹田」を学習した結果、学校側より「大変良い福祉教育、郷土教育、社会教育となった」との評価を得てきた。

併せて、特別養護老人ホーム寿楽荘の入居者の自主活動を岸部地区の民生・児童委員協議会などがサポートすることにより、地域連携で「介護・福祉・教育」活動を展開することができた。

その取り組みの中から「介護・福祉・教育」を絵本にまとめ上げ、吹田全体の子ども達に発信し、福祉のまちづくりを更に発展させてほしいとの声が地域より上がり、「ひいじいちゃんはビールづくりのかみさま」というタイトルの絵冊子を発行することになった。

◆実施内容

特別養護老人ホーム寿楽荘に1995年に入居し、2006年1月に96才で亡くなった男性が主人公の物語である。

その男性は、アサヒビール発祥の地、大阪府吹田市にあるアサヒビール工場でビールを熟成させる木製の「貯酒樽」の製造・修理・管理をする仕事に従事し、仕事ぶりは“ビールづくりの神様”と評されるほどだった。

物語は、その男性を見舞いに訪れたひ孫の“ひろしくん”がちょっとしたことでけんかになり、「ひいじいちゃんは車いすにのって弱い」と言ってしまうが、「ビールづくりのかみさま」と呼ばれた過去を知り、「ひいじちゃんてすごい！」という尊敬の気持ちを新たにするというあらすじである。寿楽荘でその男性を介護してきた生活相談員が文を、絵は灰谷健次郎の「兎の目」で知られる絵本作家の長谷川知子さんに手掛けていただいた。

その絵冊子の発行にこぎつけることができたのは、実は、

吹田市が市民公募した「吹田市制施行70周年市民手づくり事業」の支援を得ることができたことも大きく、絵冊子発行の大半の費用を吹田市から提供していただいた助成金によりまかなうことができたからである。

◆活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

私達は、「核家族化で祖父母と同居していない子どもが多い中、おじいちゃんやおばあちゃんは“すごい”と思ってほしい。人はいろんな力を持っていることに気づける人になってほしい」と願ってきた。また「きつい、きたない、低賃金」と敬遠されがちな介護の仕事を理解していただきたいとの思いもあり、介護者、要介護者のどちらにもエールになってほしく、子ども達の未来の夢の仕事の一つに福祉の仕事が加われるきっかけとなれば嬉しいと願ってきた。

その寿楽福祉会の思いはこの絵冊子発行により、吹田の介護事業所、福祉関係者にとどまることなく、吹田の教育者、家庭でも話題を呼んでいる。

◆今後の展開

「ひいじいちゃんはビールづくりのかみさま」の発行を通し、地域の福祉職員のみならず、民

生・児童委員の方々、そして、教育者、そして、吹田のまちで暮らす方々に、高齢者の輝いていた時代をささやかに伝えることができたが、次年度は「老年よ大志を抱け」を合言葉に、吹田のまちで元気に暮らす高齢者の方々にエールを送ることを目的とした市民手づくりの冊子を作る予定である。編集は寿楽福祉会が行い選考委員は、吹田の民生・児童委員協議会の会長や学校の校長先生などに依頼している。

高齢者が元気に生きることが出来る街づくりの支援に向け、得意とするレポート、作文、随筆、短歌などで作品を提供していただく計画である。

◆主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
作画料	100,000円	吹田市制70周年記念事業市民手づくり事業（補助金）	300,000円
絵冊子印刷費	410,000円	絵冊子発行募金	110,074円
ピアノ演奏謝礼	10,000円	法人からの繰入金	109,926円
<合計>	520,000円	<合計>	520,000円

- ・取り組みに係わった職員数 45名
（職種等：施設長・生活相談員・介護職員・事務員・看護職員・ケアマネ・在宅ヘルパー）
- ・取り組みを実施している施設の事業規模
（平成22年度決算の事業活動収入） 204,938千円
※法人全体の事業規模（同上） 617,233千円



絵冊子「ひいじいちゃんはビールづくりのかみさま」の写真



絵冊子「ひいじいちゃんはビールづくりのかみさま」を紹介する新聞記事